

町民大学



- ◇対象者：一般
- ◇定員：50人程度
- ◇時間：午後1時30分から3時
(第5回のみ午後2時から3時30分)
- ◇場所：下諏訪総合文化センター小ホール・集会室
- ◇受講料：無料

No.	講座名・日時	講師(敬称略)
第1回	「八島湿原の昔、今、これから」 6月8日(日)13:30~15:00	霧ヶ峰自然教室 山田 祐子
第2回	「諏訪大社と角力~十五夜角力略史」 7月27日(日)13:30~15:00	諏訪大社上社十五夜祭奉納角力 神宮寺保存会 顧問 笠原 敏彦
第3回	「鎌倉時代前後の諏訪地方」 8月24日(日)13:30~15:00	信仰研究者 ・スワニズム事務局長 石埜 三千穂
第4回	「諏訪に地震が来たら」 9月21日(日)13:30~15:00	諏訪湖博物館専門研究員 小口 徹
第5回	「諏訪の時計の歴史~戦後いかにして 諏訪に時計産業が根づいたか~」 11月16日(日)14:00~15:30	エプソンミュージアム諏訪館長 上条 寛

☆ 問い合わせ： 下諏訪町公民館 TEL. 28-0002

6月8日(日)「八島湿原の昔、今、これから」 <山田 祐子>小ホール

八島湿原は下諏訪町の北東部に位置しています。車で気軽に行くことのできる場所のため、訪れたことがある方も多いと思います。今回はそんな身近だけど貴重な自然である八島湿原の成り立ちなどを、八島湿原の四季の姿を交えながらお話しいたします。八島湿原について新たな視点を得ることができるかもしれません。

7月27日(日)「諏訪大社と角力～十五夜角力略史」 <笠原 敏彦>集会室

角力の始まりとされている力くらべと諏訪大社との繋がりがや、諏訪地域でも特に盛んにおこなわれていた江戸時代からの角力、その所作が残っているのが全国でも神宮寺だけと言われている“角力踊り”を、映像を見ながら解説します。また、毎年8月1日下社で挙行されるお舟祭りの最後に行う御霊鎮めの意味合いの“神事角力”も解説します。

8月24日(日)「鎌倉時代前後の諏訪地方」 <石埜 三千穂>集会室

昨今、神仏習合が見直され、アニメ『逃げ上手の若君』がヒットしたこともあり、中世の前半に注目が集まっています。文化的には平安中期には中世が始まったといえますが、当時の諏訪を知る材料は非常に少ないのが実情。諏訪の中世はどのように始まり、人々はどんな暮らしをしていたのか。民俗学の手法も交えて考えていきましょう。

9月21日(日)「諏訪に地震が来たら」 <小口 徹>集会室

「(諏訪は)断層の本場ですね！！」タモリさんが『ブラタモリ諏訪』で放った言葉です。今回は、なぜ諏訪は“断層の本場”なのか、諏訪盆地の生い立ちから探ります。そして断層と地震の関係、諏訪に大地震が来た過去の事例(昭和東南海地震)と、将来想定されている直下型大地震(糸静線断層帯地震)について詳しく紹介します。

11月16日(日)「諏訪の時計の歴史

～戦後いかにして諏訪に時計産業が根づいたか～」 <上條 寛> 集会室

かつて隆盛を極めた製糸産業に代わり、諏訪地域は精密工業圏として栄えるが、今回は世界を席卷してきた戦後の諏訪の時計産業史について取り上げる。世界初、世界最高という称号を冠するセイコー腕時計の多くは、ここ諏訪で開発・製造されたものである。そんな時計産業が諏訪でどのように誕生し、根づき、発展していったかについて、その足跡をたどる。